

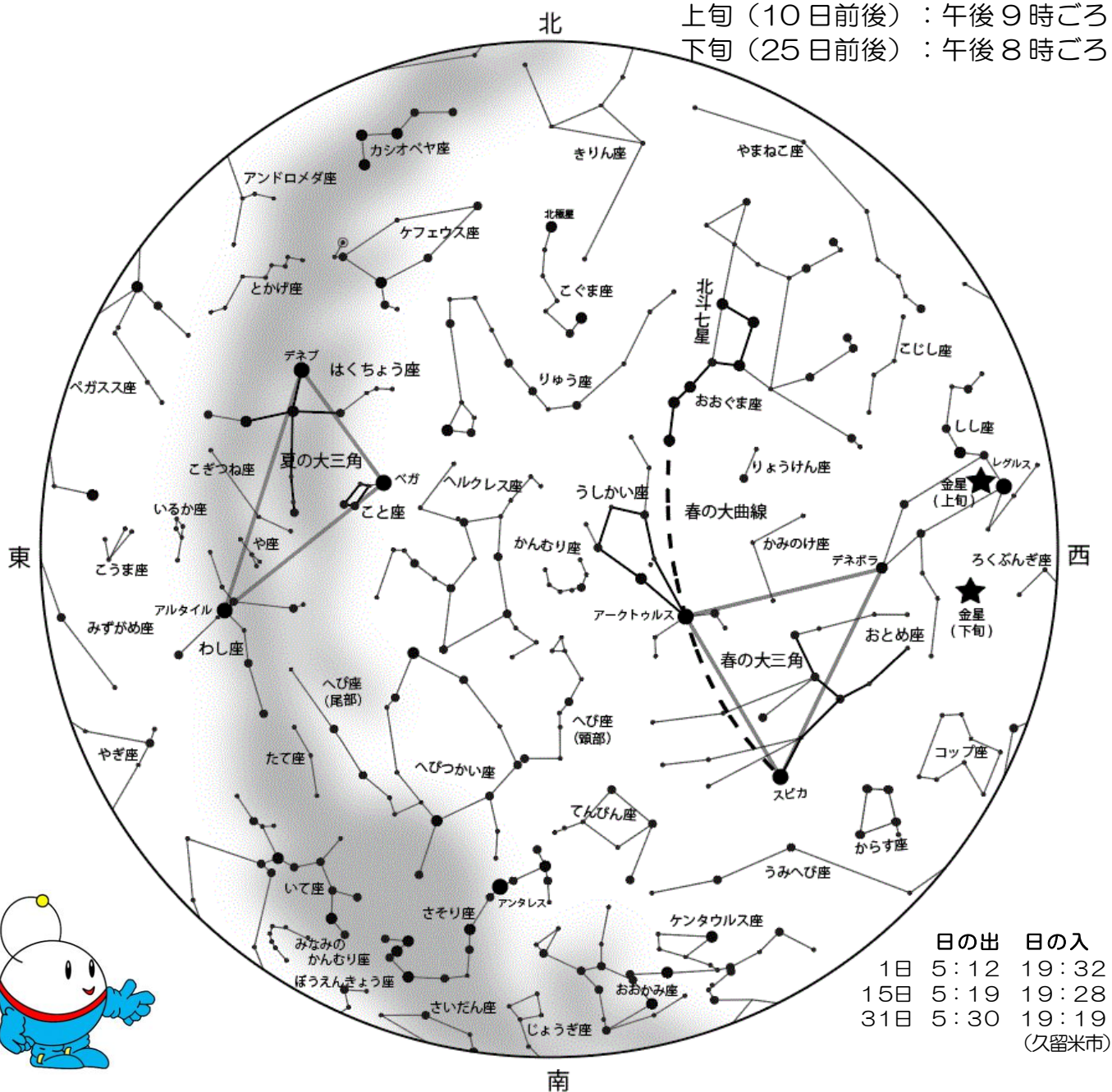
令和 8 年

7月の星空さんぽ

福岡県青少年科学館
TEL0942(37)5566



上旬（10日前後）：午後9時ごろ
下旬（25日前後）：午後8時ごろ



	日の出	日の入
1日	5:12	19:32
15日	5:19	19:28
31日	5:30	19:19

(久留米市)

今月は、西の空で見頃を終えようとしている春の星座と、東の空に昇り始めた夏の星座を同時に楽しむことができます。

まず、春の星座を探すには、北西の空高く輝くスプーンの形をした『**北斗七星**』を探してみましょう。**おおぐま座**の背中からしっぽに当たる部分です。このしっぽのカーブを南へ延ばしていくと、オレンジ色に輝く**うしかい座**の1等星**アークトゥルス**が見つかります。うしかい座はネクタイのような形の星の並びが目印です。さらにカーブを延ばすと、白く輝く**おとめ座**の1等星**スピカ**が見つかります。おとめ座はアルファベットのYの字のような星の並びが目印です。北斗七星からアークトゥルス・スピカへと続くこの雄大なカーブを『**春の大曲線**』といいます。

次に、夏の星座を探す目印となるのは、3つの1等星を結んでできる『**夏の大三角**』です。北東の空で一際明るく輝く星が、七夕の織姫星として知られる**こと座**の**ベガ**です。こと座はベガと近くにある四角形の星の並びが目印です。ベガから南東へ天の川を渡った先にあるのが、彦星として知られる**わし座**の**アルタイル**です。わし座は、アルタイルとその両脇の2つの星が目印です。そしてベガから北東へ目を移すと、**はくちょう座**の**デネブ**が輝いています。はくちょう座は、デネブを頂点とする十の字の星の並びが目印です。

今月は、『春の大曲線』と『夏の大三角』をたよりに、春と夏の星座を探してみたいはいかがでしょうか。

《7月の天文カレンダー》

日	曜	天 文 現 象	日	曜	天 文 現 象
8	水	下 弦 (4 : 29)	21	火	上 弦 (20 : 06)
14	火	新 月 (18 : 44)	29	水	満 月 (23 : 36)

【惑星の見え方】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

水星 (0.5～4.9等級)	: ふたご座付近	観望に適さない。
☆金星 (-4.2等級前後)	: しし座付近	日の入り後、西の低空で輝く。
火星 (1.4～1.3等級)	: おうし座付近	日の出前、東の低空で輝く。
木星 (-1.8等級前後)	: かに座付近	観望に適さない。
☆土星 (0.7等級前後)	: うお座付近	日の出前、南東～南の空で輝く。

注目の天文現象 (7月) ～三日月・金星・レグルスが接近～

7月17日の夕方、西の低空にて、細い三日月と金星が近づいて見えます。宵の明星として-4.1等級のひときわ輝く金星と、細い月が並ぶ様子は、夕暮れの空で大変目を引くことでしょう。

また、7月上旬～中旬にかけて、金星が、しし座のレグルス付近で輝きます。9日と10日の夕方には、西の低い空で最接近します。その後は遠ざかっていきますが、17日夕方には、レグルスと金星の間に三日月が輝き、さらに目を引く光景となります。

夕焼けのグラデーションが残る薄明の空の中での、三日月・金星・レグルスの美しい共演を、ぜひお楽しみください。



【ステラナビゲータ 11 / 株式会社アストロアーツ】

《天文イベントのご案内》

☆市民天体観望会 7月18日(土) 20:00～21:00 要予約

「春夏の星座探しと二重星をたのしもう」

- 対 象: 制限なし(ただし、中学生以下は保護者同伴) ■定員: 100名
- 参加費: 無料
- 予 約: 7月4日(土) 9:30 から、オンラインにて受付。



ご予約用QRコード

○オンラインでの予約受付について

- ・イベントのご予約は右のQRコード、または当館ホームページよりお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら、来館またはお電話にてお問合せ下さい。(☎0942-37-5566)



最新の情報は、ホームページまたはお電話にてご確認ください。